

教育相談
072-941-3365

情報推進
072-943-5785

研究・研修
072-943-5784

教育センター
Web サイトは
こちらから



「認め合い ともに生き未来を切り拓く八尾の教育」をめざして

Web 版「八尾の小さな巨匠展」

公開期間：令和4年1月19日（水）～2月28日（月）

「八尾の小さな巨匠展」は、八尾市立学校の支援学級の児童生徒の絵画や工作などの作品を展示する作品展です。子どもたちの学習の成果を認め合い、作品を通して交流を深めるとともに、広く地域の人々に特別支援教育に対する啓発をはかることを目的として、八尾市教育研究会の主催で毎年開催されています。

今年度も昨年度に引き続き、Web での開催となりました。出展された作品は、昨年度にも増して、色鮮やかな作品や力強い作品、個人の作品から共同作品まで、一つひとつ全ての作品から子どもたちの思いがより力強く表現されていました。時間や場所を問わず、何度でも作品を見ることができるといふ Web 開催の良さをいかして、子どもたちはもちろん、保護者の皆様をはじめ、たくさんの方々に「八尾の小さな巨匠展」を楽しんでいただけたというお話も聞くことができました。



ひな祭り（共同制作）〔東中学校〕



とんぼ（共同制作）〔高安西小学校〕

研究協力員成果報告会

教育センターでは、八尾市教育振興基本計画の基本理念である「認め合い ともに生き 未来を切り拓く八尾の教育」に基づき、教職員の教科指導等の指導力向上を目的として、研究協力員による研究を進めています。

令和4年2月2日（水）、研究協力員成果報告会として、各部会の1年間の研究成果を発表しました。また、今年度は、新型コロナウイルス感染症予防対策としてオンライン



特別支援教育部会

3.各班の概要

①アンケート班

Formsを活用し食に関するアンケートを実施する方法を提案する。

②ICT授業班

ロイロノートを活用した食育の授業を提案する。

③平和学習班

戦時中の食糧難に「ボン菓子機（穀類膨張機）を作った八尾の女性教師の話」を食育の視点を持って行う道徳の授業案にし、提案する。

食育部会

での開催となりました。各部会からは、指導方法の改善や学習指導と評価の一体化といった「主体的・対話的で深い学びの実現をめざした授業づくり」についての研究や、ICTを活用した授業実践など、子どもたちの学びがさらに深まるような研究について発表がありました。受講者は発表に熱心に聴き入っていました。今年度の研究成果については研究紀要にまとめ、八尾市の小中学校へ共有し、今後の授業づくりに活かしていきます。

【受講者の感想】

- ICTの活用について、どの部会も素晴らしい報告例ばかりで、本校にあう取り組みに応用していきたいです。
育部会のFormsを活用したアンケート活用なども、校務の効率化につながるものだと思います。
- 体育部会や道徳部会の報告でICT機器を活用されていて、客観的な視点での観察や、児童への発問の方法等、学校のICT化が進んできていると感じました。本校でもロイロノートを利用した授業に取り組んでいるので、今回の記録を本校の研修に取り入れられないか提案していけたらと思います。また、児童へのアンケート集計など統計処理にも活かせるような場面がありました。
- 事務の方が諸費の管理や事務処理等をやっていただいているおかげで、私たちも安心して取り組むことができます。教員の業務が増加している中、いかに効率よく作業を行うことができるかを研究していただき本当に有難いです。
- 子どもたちに伝えることの柱（系統性）を意識して学校全体で指導する必要があると思った。また、「差別をなくす」という意識を全職員が持ち、指導に当たるべきだと改めて実感した。

体育授業づくり研修②

～ダンス(河内音頭 mix)から学ぶ短距離走～



美園小学校体育館

魅力創造部文化・スポーツ振興課と公益社団法人日本ストリートダンススタジオ協会との共催で、八尾の伝統文化の一つである「河内音頭」についての理解を深めること、短距離走における能力向上に向けた運動について理解を深めることをねらいとし、体育授業づくり研修②を令和4年1月17日(月)に行いました。

この研修では、河内音頭 mix 版として、名古屋学院大学と共同研究を行ってきた『足が速くなるダンス』と、河内音頭を組み合わせてできたダンスを体験しました。ダンスの動きの中には、走力の向上に必要な「足の回転数を上げ

る」「歩幅を広げる」「安定した姿勢を保持する」ということを意識したトレーニング要素を含み、楽しくダンスを踊るうちに、短距離走のタイムが向上するという内容でした。

参加者は、最初に講師の先生のお手本を見ると、想像以上にハードで、複雑な振り付けに驚いていましたが、1時間の講習の中で、上着を脱ぐほど体を温めながら楽しくダンスをしていました。

時代と共に新しいものを取り入れて変化していく河内音頭の一つの可能性として、また子どもの運動についての意欲向上のために広まってほしいと思います。

<受講者の声>

- ・ダンス指導について、指導者の方が1番楽しそうにイキイキと指導してくださったので、こちらまで引っ張られて楽しくなりました。

子どもたちに指導する際も、自分が1番楽しんでとにかく楽しむことを第一に教えていければと思います。

- ・河内音頭という地域の伝統的な踊りと新しいダンスが組み合わせられていて、子どもたちも興味をもって取り組めるだろうと感じました。

- ・とても楽しく河内音頭にふれられた気がします。

足が速くなるポイントや理論も深く知りたいと思いました。

5年経験者研修

5年経験者研修④「メンタリング【検証】」回を令和4年1月25日(火)に行いました。新型コロナウイルス感染症予防のため、急遽オンライン研修となりましたが、先生方もオンライン研修にも慣れたようで、機器トラブルもなく、スムーズに研修を進めることができました。顔を合わせて話すほうが交流はしやすいのは確かですが、研修の内容によっては今後もリアルタイム研修は一つの開催方法として定着していきそうです。

本日の研修は、受講者は「メンター」として、それぞれの学校の経験の浅い教職員「メンティー」に対して行った「メンタリング」について交流を行いました。少し前まではメンター自身も不安に感じていたこと、自信がなかったことについて、若手教員の悩みを聞くことは、ベテラン教員から返ってくるベストな回答とはまた違う説得力のようなものがあります。また、今まで懸命に前だけを見てきた先生方にとって、周りを見渡す機会、また、自分の軌跡を振り返る機会となったかと思います。メンティーの成長を促すだけではなく、自分自身の成長を感じることができたのではないのでしょうか。

自分にはまだまだ自信がないからと思わず、これからも積極的に様々な立場の人と関わっていけるようにして欲しいと思います。

10年経験者研修

第4回10年経験者研修「組織づくり チームビルディング【検証】」回を令和4年1月18日(火)に行いました。

10年経験者研修最終回となるこの研修では、各所属校で実践したチームビルディング(強い組織づくり)について、グループで交流しました。

チームビルディングという視点を意識してそれぞれの校務分掌等に取り組み、それまでと違った視点で見られたり、情報の共有の大切さを再認識したり、また、提案者として新たなことに取り組むことができたりと、たくさんの成長があったようです。

二つ目の交流として「組織を活性化させるためには」というテーマで、それぞれ大切だと思うことを考え、交流しました。アメリカの経営学者であるC. I. バーナードの説によると、組織が組織であるための3要素として、「共通の目的」「貢献する意欲」「コミュニケーション」を挙げています。先生方の交流の中からは「情報共有」や、「職場の雰囲気」、「長所を生かした役割分担」など、様々な意見が出ました。どの意見も納得できる組織作りに欠かせない要

素で、今後の組織づくりに生かしていただきたいと思います。

法定研修である中堅教諭等資質向上研修に位置付けられる本研修を通して、ミドルリーダーとしての今後の自分を見つめ直す機会になったと思います。また、同じ10年目の教員同士で交流を深める中で、それぞれの学校での特色のある取組みを学んだり、それぞれの強みを生かした取組みについて考えたりすることができたと思います。

ミドルリーダーとして若手とベテランをつなぎ、組織を活性化させていくことを今後も期待しています。

ICT 研究推進校中間報告会

令和4年1月28日（金）と2月4日（金）にICT 研究推進校中間報告会（南山本小学校）の公開授業の動画撮影を実施しました。本来ならば、たくさんの先生方に参観してもらう予定でしたが、まん延防止等重点措置が適用されたことを受け、録画した動画を配信するオンデマンド開催となりました。2年生の生活科では、「中庭で見つけた冬の植物を紹介しよう。」をテーマに、自分で撮影した校内の植物の写真を、タブレット端末を使ってみんなに紹介していました。写真に文字を入れるなど、それぞれ工夫をして発表していました。3年生の理科は「じしゃくのふしぎ」のテーマで、磁石につくものとつかないものを予想しながら、実際に実験をして、結果をタブレット端末でまとめていました。実際に体験することとICT 機器でわかりやすくまとめることで、実感を伴った理解につながっていました。5年生の社会は「医療情報ネットワーク」についてインターネットを使って調べ学習をしていました。タイピングに慣れている子どもたちが多く見られ、調べたことをあっという間にスライドにまとめていました。中間報告会の内容は講師先生の動画も含め、編集後にオンデマンドで配信されます。参加できなかった教職員もICT を活用することで「いつでも、どこでも、何度でも」参観することができます。



操作方法のサポートをしながら、全員がタブレット端末を活用できる環境づくり。



インターネットで調べた内容を、スライドにまとめてその場で発表。



磁石につくものとつかないものを予想し、データ上のカードを使って分ける。

教育センター「情報公開コーナー」

教育センターB棟（東側）の2階に「情報公開コーナー」があります。各種教育関係図書・雑誌等を配架しています。もちろん「教科書センター」として八尾市で採択している教科書や他社の教科書もあります。研修等で来所された時に直接ご覧いただければ幸いです。教科書・その他書籍・雑誌等も2週間の貸し出しを行っております。今回は1月から2月に入った雑誌名と目次の一部を紹介いたします。

「指導と評価」（日本教育評価研究会）2月号

- ・特集1 エビデンスに基づく教育
- ・特集2 キャリア教育再入門

「道徳教育」（明治図書）2月号

- ・特集 批判的思考を生かす道徳授業の提案

「月刊学校教育相談」（ほんの森出版）2月号

- ・特集1 課題を抱える子がクラスに複数名いるとき
- ・特集2 「死にたい」気持ちの聴き方・受け止め方



教育センターの梅

「特別支援教育研究」（全日本特別支援教育連盟編集、東洋館出版社）2月号

- ・第1特集 特別支援学級・通級指導教室の「技」
～子どもの見方、関わり方～
- ・第2特集 共生社会の中で、生涯を通じて共に学び合い育ち合う子供たち
～主体的に生きる力をはぐくむ教育の充実を目指して～

「初等教育資料」（文部科学省編集、（株）東洋館出版社発行）2月号

- ・特集Ⅰ 体験学習の充実
- ・特集Ⅱ 「道徳」物事を多面的・多角的に考える道徳科の学習

「中等教育資料」（文部科学省編集、学事出版）2月号

- ・特集 高等学校の学習指導と学習評価の工夫改善④＜芸術（音楽、美術、工芸、書道）＞

教育科学「国語教育」（明治図書）2月号

- ・特集 国語教育 2022年の論点

教育科学「社会科教育」（明治図書）2月号

- ・特集 「個別最適な学び」を実現する！ 授業&活動アイデア

「新しい算数研究」（新算数教育研究会編集、東洋館出版社）2月号

- ・特集 中学校数学といかに接続するか

If winter comes, can spring be far behind?